

JIS

船用電気器具のプラスチック選定基準

JIS F 0701-1989

(2006 確認)

平成 元 年 6 月 15 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

船舶部会 船用照明器具専門委員会 構成表 昭和56年9月11日制定のとき)

	氏 名	所 属
(委員長)	末 広 一 郎	財団法人日本海事協会
	土 屋 睦 夫	運輸省船舶局
	菅 原 淳 夫	工業技術院標準部
	斎 藤 宗三郎	財団法人日本船舶標準協会
	竹 貫 登志雄	船舶整備公団
	大 石 幸 明	大石電機株式会社
	小 川 雄	株式会社五十嵐硬化工業所
	笠 井 富 夫	小永工業株式会社
	神 谷 健 次	株式会社三菱電機製作所
	北 澤 毅	株式会社北澤電機製作所
	佐 藤 泰 司	三信電具製造株式会社
	平 川 武 治	森尾電機株式会社
	水 田 裕 雄	桑畑電機株式会社
	森 下 幸 作	株式会社高工社
	五十嵐 昭 一	住友重機械工業株式会社船舶海洋本部
	大 川 清 広	石川島播磨重工業株式会社生産本部
	大須賀 実	川崎重工業株式会社船舶事業部
	神 浦 恒 男	日本鋼管株式会社重工事業部
	鶴 井 信 勝	三菱重工業株式会社造船設計部
	橋 口 真 治	日立造船株式会社船舶営業本部
	久 本 修 三	三井造船株式会社船舶海洋プロジェクト事業本部
(事務局)	石 井 清 次	工業技術院標準部機械規格課
	岡 部 康 恒	工業技術院標準部機械規格課
(事務局)	小 林 秋 穂	工業技術院標準部機械規格課 (平成元年6月15日改正のとき)
	山 形 智 幸	工業技術院標準部機械規格課 (平成元年6月15日改正のとき)

主 務 大 臣：運輸大臣 制定：昭和 56.9.11 改正：平成 元.6.15 確認：平成6.4.1
官 報 公 示：平成6.4.15

原案作成協力者：財団法人 日本船舶標準協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 船舶部会 (部会長 堀之北 克朗)

審議専門委員会：船用照明器具専門委員会 (委員長 末広 一郎) (昭和56年9月11日制定のとき)

この規格についての意見又は質問は、運輸省海上技術安全局技術課 (〒100 東京都千代田区霞が関2丁目1-3) 又は工業技術院標準部機械規格課 (〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

船用電気器具のプラスチック選定基準

F 0701-1989

(1994 確認)

Criteria for Selection of Plastics Used
for Marine Electrical Appliances

1. 適用範囲 この規格は、船用の照明器具及び配線器具、船内通信器具、航海計器などの船用電気器具（以下、器具という。）の構造材料、電気絶縁材料及び部品材料に用いるプラスチックの性能及び選定基準について規定する。

備考 この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって、参考として併記したものである。

2. 用語の意味 この規格で用いる主な用語の意味は、JIS K 6900（プラスチック用語）によるほか、次による。

- (1) 熱変形温度 JIS K 7207（硬質プラスチックの荷重たわみ温度試験方法）によって測定した荷重たわみ温度。
- (2) 耐熱温度 JIS K 6911（熱硬化性プラスチック一般試験方法）の耐熱性試験を行い、有害なひび、割れ、ふくれ、変形などが生じない限界温度。
- (3) 異種材料との化学反応 器具を構成するプラスチックとゴム、接着剤、異質プラスチック、金属、潤滑剤、絶縁電線などの異種材料との間に生じる化学反応。
- (4) 後収縮 器具が使用中に受ける温度サイクルなどによって、プラスチックが収縮し、元に戻らなくなる現象。
- (5) 低温性能 器具を低温下で使用したとき、器具を構成するプラスチックが、ぜい（脆）性破壊することなく、器具の機能を維持できる低温に対する能力。
- (6) 耐燃性 JIS K 6911 による垂直燃焼試験及び水平燃焼試験を行い、着火炎の燃焼状態が V-0 級、V-1 級、HB 級に区分した条件に適合する耐燃焼性能。

引用規格：JIS K 6900 プラスチック用語

JIS K 6911 熱硬化性プラスチック一般試験方法

JIS K 7207 硬質プラスチックの荷重たわみ温度試験方法

JIS Z 8701 XYZ 表色系及び $X_{10}Y_{10}Z_{10}$ 表色系による色の表示方法

関連規格：JIS A 1415 プラスチック建築材料の促進暴露試験方法

JIS C 0028 環境試験方法（電気・電子）温湿度組合せ（サイクル）試験方法

JIS K 6717 メタクリル樹脂成形材料

JIS K 7110 硬質プラスチックのアイゾット衝撃試験方法

JIS K 7113 プラスチックの引張試験方法

JIS K 7203 硬質プラスチックの曲げ試験方法

JIS K 7208 プラスチックの圧縮試験方法

ASTM D 638 Standard Test Method for Tensile Properties of Plastics

ASTM D 648 Standard Test Method for Deflection Temperature of Plastics under Flexural Load

ASTM D 695 Standard Test Method for Compressive Properties of Rigid Plastics

ASTM D 790 Standard Test Method for Flexural Properties of Plastics and Electrical Insulating Materials